

2016年5月11日

平成28年度 鉄道事業設備投資計画 安全対策関連など 総額約205億円

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）では，中長期的視点から安全対策投資を継続的に実施しており，平成28年度は，鉄道事業において，総額約205億円（うち安全対策設備投資は約195億円）の設備投資を行います。

設備投資の主な内容は，すべてのお客さまが，より安心してご利用いただけるよう，高架橋耐震補強工事，法面防護，トンネル補修，橋梁補修などの防災・地震対策を積極的に行います。また，駅の改良工事や車両の新造・改造・更新，列車無線の改良工事，および大師線連続立体交差事業（第1期）工事などの安全対策も引き続き実施いたします。

設備投資計画の詳細は，別紙のとおりです。



高架橋耐震補強（大森海岸～平和島）



法面防護（追浜～京急田浦）



新造車両（新1000形）



大師線連続立体交差事業（第1期）

1. 安全対策関連

約 195 億円

(1) 防災・地震対策

約 27 億円

防災・地震対策強化のため、高架橋耐震補強工事のほか、法面防護・トンネル補修・橋梁補修などを行います。

(2) 新造車両と車両更新

約 57 億円

安全・快適にご利用いただけるよう、新型車両「新 1000 形」を新造し、また、既存車両の更新・改造を行います。

●車両の新造	新1000形	32 両
●車両の更新	2100形	16 両

(3) 変電所・電気保安設備などの電気施設の更新・改良

約 39 億円

変電設備の更新をはじめ、列車無線の改良により保安度の向上をさせるなど、電力・信号・通信など諸設備の更新、改良を行います。

(4) 駅改良工事

約 43 億円

さらなる利便性を向上させるため、駅の空調機設備更新やエスカレーター更新を行うほか、橋上駅舎耐震補強工事や駅舎・ホームの改修・改築を行い、安全性向上を図ります。

空調機設備更新	対象駅：品川駅
エスカレーター更新	対象駅：立会川駅（3基）
橋上駅舎耐震補強工事	対象駅：京急新子安駅，杉田駅，追浜駅，六浦駅
駅舎・ホームの改修・改築	対象駅：新馬場駅，神奈川新町駅，黄金町駅， 金沢文庫駅，堀ノ内駅，馬堀海岸駅， 京急久里浜駅，津久井浜駅，三浦海岸駅， 三崎口駅

(5) 連続立体交差化工事

約 8 億円

京急蒲田駅付近連続立体交差化工事は、鉄道を高架化して踏切を解消し、踏切事故や交通渋滞を解消するため、平成 12 年 12 月から事業着手してきました。平成 24 年 10 月に本線平和島駅～六郷土手駅間（約 4.7km）、空港線京急蒲田駅～大鳥居駅間（約 1.3km）の高架化が完了し、28 か所の踏切を廃止、踏切事故および交通渋滞を解消することができました。今年度末の事業完了を目指し引き続き工事等を進め、安全性と利便性の向上を図ります。

また、大師線連続立体交差事業（第 1 期）工事は、暫定整備区画として東門前駅～小島新田駅間の地下化工事を引き続き進めてまいります。

(6) その他

約 21 億円

工場，検車庫の改良・改修 ほか

※国や地方自治体との共同事業も上記の中には含まれておりますが、金額標記は当社負担分です。

2. その他

約 10 億円